

平泉町駐車場整備事業経営戦略

団 体 名 : 平泉町

事 業 名 : 駐車場整備事業

策 定 日 : 令和 6 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 6 年度 ~ 令和 15 年度

【経営戦略策定の背景】

町営駐車場は平泉町の観光の玄関口として機能しているほか、町内の交通施策の一環として渋滞対策において大きな役割を果たしています。また、町内のイベントや学校行事などで使用料の減免を行い、広く町民に利用いただくなど、地域住民にも寄与している施設です。

本町の駐車場事業は中尊寺に車で来訪される観光客への対応を目的として、昭和38年に町営中尊寺第1駐車場の整備を行い、事業を開始しました。昭和48年には毛越寺近隣に町営毛越寺駐車場を、昭和61年には町営中尊寺第2駐車場の整備を行い、3施設を管理しています。

施設の老朽化に伴い、今後維持管理や付属施設の更新に重点を置いた経営が求められることから、費用の増加が見込まれており、今後の駐車場事業の運営に影響を及ぼすことが予想されます。

この経営戦略は、経営環境の変化に適切に対応し、一層の経営基盤の強化を図ることにより、今後も駐車場サービスを持続的かつ安定的に運営していくための指針として策定するものです。

1. 事業概要

(1) 事業形態等

法適・非適の区分	非適用	事業開始年度	
職員数	1人(兼務)	施設名	平泉町営中尊寺第1駐車場 平泉町営中尊寺第2駐車場 平泉町営毛越寺駐車場
種類	都市計画駐車場 ・中尊寺第2駐車場 その他 ・中尊寺第1駐車場 ・毛越寺駐車場	構造	広場式
立地		建設後(建替後)の経過年数	中尊寺第1:60年 中尊寺第2:37年 毛越寺 :50年
駐車場使用面積	中尊寺第1: 5,434㎡ 中尊寺第2: 9,864㎡ 毛越寺 : 11,928㎡	収容台数	中尊寺第1:150台 中尊寺第2:304台 毛越寺 :330台
営業時間	8時30分~17時	一時間当たりの料金 (普通車)	中尊寺第1:400円 中尊寺第2:400円 毛越寺 :300円
経常収支比率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載	R2 中尊寺第1:106.1% 中尊寺第2:69.2% 毛越寺 :127.3%	R3 中尊寺第1:109.6% 中尊寺第2:69.2% 毛越寺 :143.6%	R4 中尊寺第1:102.8% 中尊寺第2:97.9% 毛越寺 :140.9%
稼働率* ※過去3年度分を記載	R2 中尊寺第1:105.3% 中尊寺第2: 2.6% 毛越寺 : 51.8%	R3 中尊寺第1:115.3% 中尊寺第2: 2.3% 毛越寺 : 27.0%	R4 中尊寺第1:173.3% 中尊寺第2: 2.3% 毛越寺 : 44.8%

*
$$\left(\frac{\text{一日平均駐車台数} \times \text{一台当たり平均駐車時間}}{\text{収容台数} \times \text{営業時間}} \right) \times 100$$
 105.3

(2) 料金形態

施設名 車種	町営中尊寺第1駐車場	町営中尊寺第2駐車場	町営毛越寺駐車場
大型及び特殊自動車	950円	950円	750円
大型自動車 (11人以上~29人以下)	800円	800円	600円
普通及び軽自動車	400円	400円	300円
自動二輪車	50円	50円	50円
備考	・料金はすべて1回駐車した際の金額。		

(3) 駐車場実態調査による現状把握・分析

各駐車場はそれぞれ平泉町の観光地である「中尊寺」「毛越寺」の近隣駐車場であり、繁忙期である5月の大型連休や夏から秋の季節、正月三が日等において道路の渋滞緩和機能の役割を果たしている。また、町内のイベントや学校行事等で使用する際には使用料の減免を行い、広く町民に利用いただくなど、地域住民にも寄与している。

2. 経営の基本方針

- ・観光支援
町内観光施設への来訪者の駐車場として、町内の観光振興を図る。
- ・経営基盤の安定化
利用者へのサービスを継続的に提供するため、経営の安定に努める。
- ・満足度の高いサービスの提供
利用者のニーズを的確に把握し、顧客満足度の向上に努める。

3. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

- ・施設全体で、毎年修繕費を計上し、日常的な修繕の対応を行う。
- ・老朽化及び経年劣化によって発生する区画線の摩耗などは計画的に修繕の対応を行う。
- ・施設管理計画に基づき、施設の大規模改修を検討する。

② 収支計画のうち財源についての説明

- ・平泉町が直接運営しており、利用者からの使用料が主な収入となる。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

- ・観光客誘致が使用料の増加に繋がることから、町の観光施策と連携して、利用者の増加に努める。併せて、支出の抑制に努め、経常利益の確保を図る。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 今後の投資についての考え方・検討状況

投資の平準化に関する事項	修繕箇所や設備投資をすべき箇所を精査することで、計画的な投資を行う。
施設等の統合・縮小・廃止に関する事項	施設の利用状況などから、総合的な判断を行う。
防災・安全対策に関する事項	事故の無いよう、サービスの向上・維持に努める。 修繕箇所を精査し、優先すべき箇所から修繕を行う。

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料金形態に関する事項	経費が年々増加している状況を鑑み、料金単価増額を検討する。
利用状況に関する事項	毎日の事業報告書により、適切な利用状況の把握に努める。
繰入金に関する事項	令和6年度他会計からの繰入金あり。 基金について見直しを検討する。
資産の有効活用に関する事項	観光施設に隣接している駐車場であり、収益が見込めることから使用料の徴収を行う。

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

民間の活力の活用に関する事項 (指定管理者制度、PPP・PFI など)	現在、シルバー人材センターや町内事業者の協力のもと、安定的な運用がされていることから町管理の体制を継続する。
職員給与費に関する事項	町職員(兼務)1人をあてる。
委託費に関する事項	駐車場料金徴収業務や駐車場警備業務、除雪業務など、駐車場利用者への安定的なサービスの提供に係る業務の委託を行う。

4. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・町当中尊寺第1駐車場、町当中尊寺第2駐車場 主に「中尊寺」来訪者の駐車場として機能し、観光施設への来訪者数を高めることや繁忙期の渋滞緩和機能を有している。 ・町営毛越寺駐車場 主に「毛越寺」への来訪者の駐車場として機能し、観光施設への来訪者数を高めることや繁忙期の渋滞緩和機能を有している。
公営企業として実施する必要性	「中尊寺」「毛越寺」への来訪者の利便性を向上させることにより、町の観光支援を一体的に行うことができる。また、繁忙期における町内交通機関の渋滞対策の役割を担うことから、併せて渋滞緩和支援が可能である。町内でのイベントや学校行事などで使用料の減免対応を行うなど、地域住民に対する柔軟な対応を図ることができる。

5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	主に毎日の報告書から定期的な進捗管理を行い、大規模改修時などのタイミングで経営戦略の見直しを行う。
---------------------	---

